

青少年活動センターのページ

北青少年活動センター（愛称：きたせい）

若者たちがふれあう

地域活性ボランティア

「地域活性ボランティア」は、2004年に「地域イベントボランティア」として発足しました。

最初の活動は、新大宮商店街の夏祭りへの参加と環境団体（J.E.E.）と一緒にいった年に2回の清掃活動でした。

現在は、約25名のメンバーで、北区での毎月1回（第1土曜日の午前中）の清掃活動と北区民まつりや新大宮商店街のお祭り、紫野まつりなどの地域のイベントに参加協力しています。

昨年の北区の福祉のお祭り「FUNAOKA STANDARD2011」では、メンバーが北区社会福祉協議会からイベントの趣旨を事前に学び、地域の方々でつくっている実行委員会会議に参加したり、イベントのキャラクターを作成したりするなど、事前準備から携わりました。



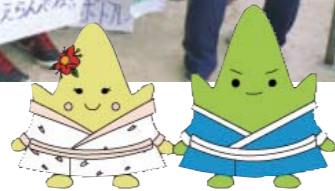
ゴミっ子ゲーム 北区新大宮夏祭り

地域の活動に参加して、地域の方々にも知られるようになり、活動中には、「頑張ってるね」「ご苦労様」という声をかけていただくこともあり、メンバーにとって、とてもやりがいのある活動になっています。

また、今年度からは、北区民ふれあい事業にも参加協力する予定をしているので、青少年が地域で活動する機会が増えます。



船岡山公園 FUNAOKA STANDARD2011



ふなすたキャラ



ゴミの達人ゲーム 北区民春まつり 2012

～ボランティア活動を通じての感想～

■私は、地域の中でどのように人が関わりあっていくのかということに興味を持ちました。地域の関わりは、各地方のコミュニティーにより基盤ができると考えています。その中で、あまり関わりを持たない人や他県から来てなかなか関わるできない学生がいることを知り、元々出来ているコミュニティーに関わることの難しさを知りました。けれど、それを繋ぐのもボランティアである自分の役目だと思いました。自分から積極的に関わることで自分の地域の学生たちにも知らせることができます。センターのボランティア活動として、動くことによってたくさんの人が協力して興味を持ってくれました。自分が動けば、まわりも動いてくれるという変化を知ることができました。（大学4年生）

■たくさんのゴミが捨てられていること。また、それがなくなること。今までは、ただ放置だったけれど、活動をするうちに、自分の心にはポイ捨てを許さないという気持ちが芽生えたと思います。（高校3年生）

■きたせいさんと日本環境保護国際交流会（J.E.E.）の事務所は、紫明通のすぐ北にあります。「紫明通のごみひろい」を数年間一緒にしています。若さあふれる皆さんとの、情報交換をかねた楽しいひと時です。「継続は力なり！」これからもよろしく。（J.E.E. 事務局責任者 環境カウンセラー 細木京子さん）



紫明通りでの清掃活動

地域で行われるイベントに中学生や高校生、大学生年代の「若者」と呼ばれる年代の参加はあまりみられません。そのため、とても身近なはずの“地域”や“地域住民とのつながり”を若者にとって実際に感じる機会がないのかもしれない。

「自分が育った地域ではないし…」「自分ひとりで、ゴミ拾いをしても…」「地域のイベントには参加しにくい」、そんな若者が「きたせい」に集まって活動をする中で、地域のイベントに参加し、交流しながら“地域”について考えたり、実感したりする機会になっています。

このような経験を通して、自分の暮らしている地域に戻った時、地域住民の1人として地域や人とのつながりについて、少しずつでも、意識することができるような若者が増えてほしいと思います。

（北青少年活動センターユースワーカー 小飼 文）